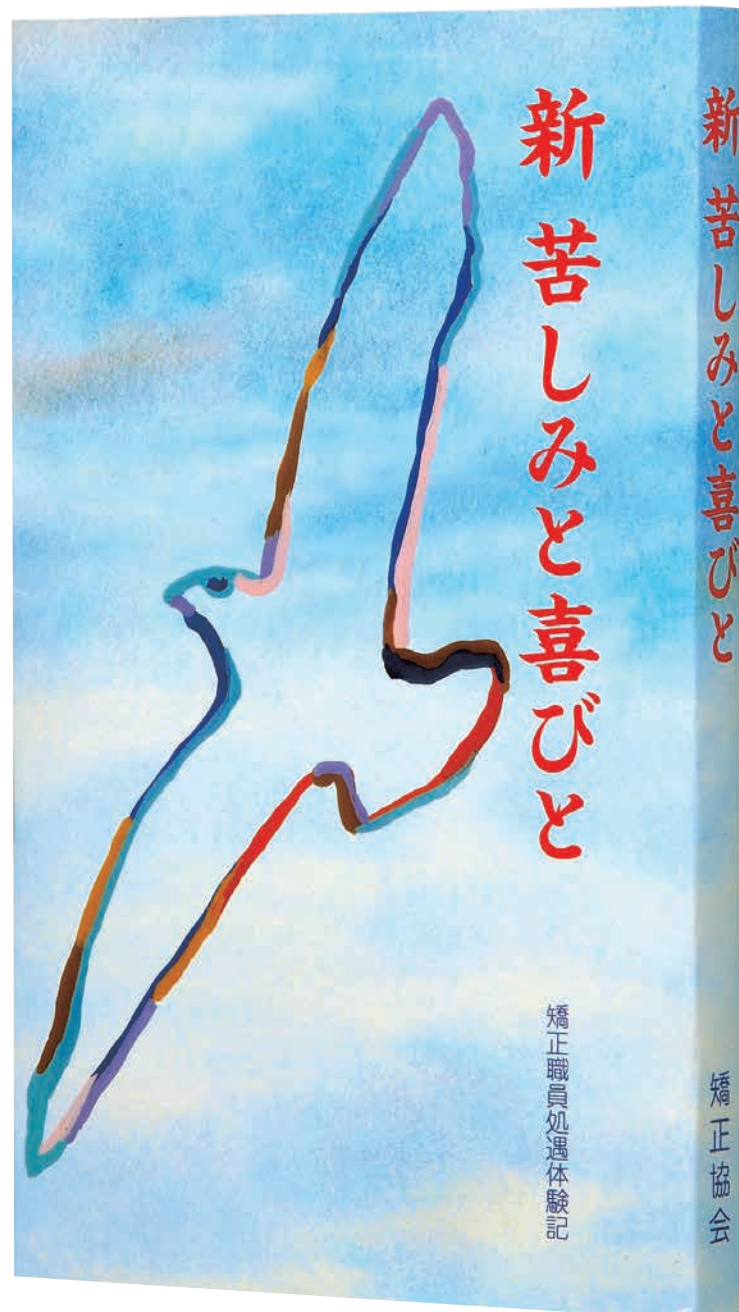


新刊御案内



・写真の本のサイズはほぼ原寸大です。
・表紙タイトル及びカモメのイラストはUV厚盛加工を施しています。

矯正職員処遇体験記

新 苦しみと喜びと

犯罪者や非行少年に真摯に向き合い、その改善更生に向けてともに考え、
悩み苦しみながら日夜勤務している矯正職員の姿
様々な事故に遭遇しても無我夢中ながらも逃げず、ひるまず、たくましく、
規律秩序の回復に向けてその処理に当たる矯正職員の姿

成人矯正18編，少年矯正9編を収録

成人矯正

さらば醸造工場
ある受刑者との出会い
父さんの学校
三眺焼日記
師
ある高齢受刑者の死
春遠し
刑務官の目
その一言に救われた
担当台
逃走事故に遭遇して
人、そして感動
管理栄養士奮闘記
真剣味
立ち直りを支えて
認知症の高齢受刑者と接して
再会
振り返って思うこと

淀川 恵弘
小玉 清美
田中 武
西田 日出男
城 大輔
中嶋 秀樹
水上 要章
伊藤 寿章
田代 貢三郎
沼倉 治夫
本田 朗子
阿部 秀樹
小嶋 薫
村上 猛
大山 孔之介
原田 淳子
浅井 亮
柳瀬 秀明

少年矯正

福少ロックソーランことはじめ
法務教官父子二代
医療少年院に勤務して
「聴く」ことの大切さ、難しさ
法務教官の仕事
チャンスを生かす
日々の勤務の中で
特別少年院寮で出会った少年たち
「帰寮組」の子どもたち ありがとう

白井 健二
源嶋 岩根
佐藤 由紀
渡邊 彰一
新井 秀人
滝下 靖
小倉 淳一郎
飯島 哲也
大島 靖浩

定価 **838円**
(本体762円+税10%)

新書判(17.3×10.5cm) 277ページ
ISBN978-4-87387-011-3

お申込 **財団法人矯正協会 出版課**

〒165-0026 東京都中野区新井3-37-2 TEL 03-3319-0652 FAX 03-3387-4454
http://www.kyousei-k.gr.jp/ E-mail: syuppan@kyousei-kyoukai.jp

皆様の熱い御要望にお応えし、ついに18年振りに刊行された矯正職員処遇体験記



矯正職員が綴るさまざまなエピソードを画像付きで全27編収録。
人を扱う矯正という仕事の独特の緊張感、心と心の格闘、触れ合いや通じ合いの喜びなど
人との関わりの面白さ、興味深さを味わうことができるものと思います。
仕事で悩んだときや何かにくじけそうになったときに、是非御一読をお勧めいたします。

新 苦しみと喜びと



秒が続いた後、Y君がI君の前にひざまずき土下座をするような姿勢でI君の紐を結んであげたのです。その瞬間のことは今でもはつきりと^{まぶた}瞼に焼き付いています。

学校に殺伐とした空気が流れ、田舎に都市化の波が押し寄せ、小さい子の面倒を見る年上のお兄さんの姿をめぐり見ることのできなくなったこの時代に、少年院という閉鎖的な空間で同じ病状を持った仲間が集い、助け合い、思いやる……そんなステップグループは法務教官という教育者としての私に一生のプレゼントをくれました。

今日のY君の出院には笑顔で握手をして見送りたいと思います。
「感動をありがとう。そして、ステップグループを育ててくれてありがとう」と……。

「帰寮組」の子どもたち ありがとう 276



網走刑務所 三昧焼製品

焼き上がった大皿を手にとってじっと見ていたが、静かな声で、「おやじさん。こんなこと言ったらちよつとばかり恥ずかしいんですが、^{しやば}娯婆でこの皿に目にかかれないかな。娯婆の寿司屋で見てみたいもんだな」と私につぶやいた。「そうだな。お前が真面目になって、ちゃんと仕事にでも就いたら、いつか見れるかも知れないな」

その電話があつてから、再びAの声を聞くことはなかったが、毛書体で書かれた年賀状がその後数回届いた。今、Aがどうしているのかは分からない。

刑務作業においては、受刑者を技術的にも精神的にも育てていく過程が必ずある。薫陶^{くんたう}という言葉は辞書で見ると、「人を教え、育てていくこと」、「徳により人を感化すること」とある。毎日、粘土とふれあひながら、人に喜んでもらえる製品作りに没頭する者たちは知らず知らずのうちにその薫陶を受けているのではなからうかと思う。

三昧焼日記 42

お申込

財団法人矯正協会 出版課

〒165-0026 東京都中野区新井3-37-2
TEL 03-3319-0652 FAX 03-3387-4454
<http://www.kyousei-k.gr.jp/>

